

『現象と秩序』投稿規定・執筆要領

『現象と秩序』編集委員会

2015年10月26日改訂

1. 投稿資格

『現象と秩序』編集委員会委員本人およびその紹介者は、『現象と秩序』に投稿することができる。

2. 原稿の種類

1) 投稿する原稿の種類は、人文・社会科学及びそれらに関わる学際領域の原著論文、ショート・ペーパー、論文、解説・総説、研究ノート、調査報告、実践報告、インタビュー記録、シンポジウム記録、書評、その他編集委員会が適当と認めたものとする。

2) 区分の指定は編集委員会が行うものとする。

3. 査読

1) 原著論文及びショート・ペーパーは査読制とする。査読を希望する原稿については、投稿申込時にどちらの区分を希望するか明記すること。査読を経た論文については、雑誌表紙のタイトルおよび論文の最初のページに「査読論文」と明記する。

2) 査読は編集委員会が行う。

(1) 編集委員会委員による査読が望ましくない場合/困難な場合は、委員会委員以外に査読を依頼することがある。

(2) 投稿から査読結果を通知するまでの期間は最大1ヶ月とする。

(3) 本誌は紙版発行とWEB上掲載の両方の手段で学術的見解の公表をするWEB誌であり、したがって、随時投稿が可能である。投稿者は、査読結果が「要修正」となった場合には、必要な修正を行ったうえで2ヶ月以内に再投稿する。再投稿された原稿については、編集委員会が採否を決定し、投稿者に連絡がなされる。採用された場合は、執筆要領にしたがって電子ファイルによる完

『現象と秩序』投稿規定・執筆要領

全原稿を作成し、編集委員会（当面は、〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学内榎田研究室, Kashida.yoshio@nifty.com）宛に、提出しなければならない。

4. 発行

冊子での発行は年1回、10月の発行を原則とする。編集委員会が形式要件を確認した日をもって原稿受理年月日とする。電子媒体による完全原稿は随時受け付け、受理されたものについては、随時ホームページ上で公開する。投稿者は投稿論文等が Web 上で公開されることを予め承認すること。

5. 執筆要領

- 1)原稿は邦文、欧文のいずれでもよい（いずれも、横書きのみ）。
- 2)電子ファイルによる完全原稿は以下の様式に従って作成する。
- 3)原稿はMicrosoft Wordで作成すること。
- 4)原稿はA4サイズとする。余白は横組みの場合は、上35mm、下30mm、左右それぞれ30mmとすること。
- 5)図表および写真はできるだけ論文の本文中に挿入する。
- 6)字体、字の大きさ、段落は以下に従って作成すること。

（英語論文の場合）

タイトル：英語のタイトルはTimes系フォント、16ポイント、太字。

サブタイトル：タイトルに準じるが字数によっては、フォントを12ポイント程度にまで小さくしてもよい。

著者名：Times系フォント、12ポイント、太字。

所属：Times系フォント、11ポイント。また、Corresponding authorが分かるようにしたうえで、メールアドレスも付記すること。

『現象と秩序』投稿規定・執筆要領

Abstract : Times 系フォント, 11 ポイント.

Key Words : Times 系フォントでサイズ 11 ポイント, イタリック.

本文, 引用文献 : 1 段組み, Times 系フォント, 11 ポイント. 1 頁の行数は 36 行程度.

(日本語論文の場合)

表題 : 日本語のタイトルはゴシック体フォント, 16 ポイント.

副題 : 表題に準じるが, 字数によっては, 12 ポイント程度にまで字を小さくすることができる.

著者名 : ゴシック体フォント, 12 ポイント. 所属 : 明朝体フォント, 11 ポイント. 責任著者が分かるようにしたうえで, メールアドレスも付記すること.

英語によるタイトル, 著者名, 所属, Key Words : 所属の次に英語によるタイトル, 著者名, 所属, Key Words を入れる. 体裁は上記英語論文と同じ.

本文, 参考文献, 註 : 1 段組み. 小見出しはゴシック体, 11 ポイント. 本文は, 明朝体フォント, 11 ポイント. 1 頁の行数は 36 行程度. 字数は 40 字程度.

6. 経費

当面は発行者が負担する. PC からのプリンター出力可能な完全原稿を提出しない者は, 版下作成にかかる経費の負担をお願いする場合がある. 抜き刷りの提供はないが, 執筆部分の PDF ファイルが提供される.

7. 書式

上に指定した以外の書式に関しては, 特別の理由のないかぎり, 『社会学評論スタイルガイド (第 2 版)』 (<http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php>) に従うものとする.

【編集後記】

『現象と秩序』第6号をお届けします。巻頭の村中論文は、関西方言に関する研究です。本誌は、『執筆要領』にもあるとおり、人文科学・社会科学の多くの領域の議論に開かれています。また、抜刷代わりに著者の方にはPDF版の配布をおこなっており、そのコピー及び再配布は自由となっております。ふるってご執筆ください。2番目の樫田論文は、『保健医療社会学論集』27巻2号に掲載された「論文投稿支援ワークショップ」実施報告の4論文に関しての、コメントをまとめたものです。『保健医療社会学論集』の当該号は、2018年9月まではWEB公開されませんが（公開までの期間の短縮を検討中）、全国の多くの大学図書館には所蔵されています。本論文と一緒に見て頂けるとより活用しやすくなると思われます。3番目の山田・樫田論文は、吃音に関しての社会学的研究です。病因論や治療論とは別の社会学的研究が吃音に関して可能であることを証明しようとした論文です。「表1」だけでも見て、興味をもった「吃音者の工夫」に関して、その該当箇所を読んで頂けると幸いです。吃音はコミュニケーションの障害なので、その症状も、症状に対処するための工夫も、いずれも社会（学）的現象なのです。新領域開拓的研究は、本誌の得意とするところです。ご堪能下さい。最後の山崎・樫田論文も、新領域開拓的研究として載せています。日本語の文法や語彙が完全ではないインタビューイヤーであったとしても、使える資源を総動員して、意味の会話的達成を行おうとしています。その努力に応える社会学をなんとか構想し、実践したいと考えて書きました。

次号には、「学園都市的食文化を考える」という特集（仮題）が組まれる予定になっています。また、単発の論文としては、家族内会話をめぐる分析、車イスバスケットボール研究、ALS在宅療養研究等が載る予定です。ご期待ください。（Y.K.）

『現象と秩序』編集委員会（2017年度）

編集委員：樫田美雄（神戸市看護大学）、中塚朋子（就実大学）、堀田裕子（愛知学泉大学）

編集幹事：坂根杏奈（神戸市外国語大学）、平田菜津子（神戸市外国語大学）

編集協力・印刷協力：村中淑子（桃山学院大学）

『現象と秩序』第6号（第2版）

※改訂箇所：第1論文の表7と表9が頁をまたがっていたため行送りを修正した。

2017年 3月31日発行→2017年11月14日第2版発行（WEB版のみ、11～13頁のみ改訂）

発行所 〒651-2103 神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学 樫田研究室内 現象と秩序企画編集室

電話・FAX) 078-794-8074（樫田研）,e-mail: kashida.yoshio@nifty.ne.jp

PRINT ISSN : 2188-9848

ONLINE ISSN : 2188-9856

<http://kashida-yoshio.com/gensho/gensho.html>